

令和8年2月市長定例記者会見

日時：令和8年2月5日（木） 午前9時～

場所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、読売新聞、射水CATV、
庄東タイムズ・ホットライン小杉

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長
教育委員会次長、環境課長

Q1. 「ゼロカーボンシティいみず」環境パートナーを募集しているが、何社程度応募があったのか。

A1. パートナーシップの募集状況について、現在、16社・団体から申請があった。今年度内で10社を目標としており、それを上回る結果で、関心の高さを感じている。

Q2. 昨年12月から行われている液状化対策の実証について、経過を教えてください。

A2. 液状化対策については、現在、地下水位低下工法の実証実験中である。昨年12月9日から開始し、地域内で水を吸い上げる縦孔に対し、道路や敷地内にL字型の透水性の管を設置している。このL字型集水管の開放は3段階のステップで実施する計画で、まず、第一段階として、短い方（1.2m）のみを開放し、状況を確認する。次に、第二段階では、短い方を停止し、長い方を開放して水をくみ上げ、周辺への影響を観察する。最終段階では、L字全体を開放して観測を行う。現時点では、実験の途中であるため、観測結果は公表できない状況であるが、実験後にその結果を示す予定である。

Q3. 実証実験はいつまで行うのか。

A3. 今年の5月まで行う。

Q 4. 台湾への観光トップセールスについて、台北市士林区での懇親会では、士林区長とどのような話をされたのか。

A 4. 士林区長や士林区の皆さんとの懇親会で、昨年9月に新たに就任した林^{リン}区長と初めての対面懇談だった。林区長への祝意やこれまでの交流への協力に対する感謝を述べた。これまで小中学校・高校生の学生同士の交流や修学旅行での交流を活発に行ってきたが、今後も観光や行事を含め、幅広い分野での交流を図ることについて、林区長も深い理解を示され、更なる交流を共に進めていくことを確認・共有した。